

JBA定例会

# ふくおかフィナンシャルグループが目指す新しい銀行のカタチ

－ 福岡発×日本初のネオバンク、デジタルバンクの軌跡 －



Minna no Ginko

株式会社 みんなの銀行 代表取締役 副頭取  
iBankマーケティング 株式会社 取締役 Founder

永吉 健一



# 自己紹介

ながよし けんいち

永吉 健一

Twitter @kenchi\_1121 ※ Facebookもやってます。(友達申請・フォロー大歓迎)

株式会社 みんなの銀行 代表取締役 副頭取  
ゼロバンク・デザインファクトリー 株式会社 取締役  
iBankマーケティング 株式会社 取締役 Founder  
株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ ビジネス開発部部長  
DIAGONAL RUN TOKYO/FUKUOKA チェアマン  
事業構想大学院大学 客員教授



Minna no Ginko

Bank



DIAGONAL RUN  
TOKYO



ZERO BANK  
DESIGN FACTORY

FFG

ふくおかフィナンシャルグループ



DIAGONAL RUN  
FUKUOKA



学校法人 先端教育機構  
事業構想大学院大学

- 1995年、(株)福岡銀行入行。
- 経営企画部門に長く在籍し、地域金融機関の経営統合に向けた検討から、2007年のふくおかフィナンシャルグループ設立、その後のPMI (Post Merger Integration) 業務に注力。
- 2014年より既存の銀行、サービスに捉われない「全く新しいマネーサービス」として、金融サービスプラットフォーム『iBank』の構築に向けたプロジェクトをリード。2016年4月 企業内ベンチャーとしてiBankマーケティング(株)を1万円で設立。
- その後、ゼロベースで設計するデジタルバンク『みんなの銀行』の立上げをリードし、現在に至る。
- 自分ではできないサッカー好き。

# Contents

## □ デジタルがもたらす環境の変化とFFGのDX

□ ネオバンクとしての『iBank』

□ デジタルバンクとしての『みんなの銀行』

# 4枚の写真が物語る『変化』とは・・・



出典：NBC NEWS [http://photoblog.nbcnews.com/\\_news/2013/03/14/17312316-witnessing-papal-history-changes-with-digital-age](http://photoblog.nbcnews.com/_news/2013/03/14/17312316-witnessing-papal-history-changes-with-digital-age)  
Luca Bruno / APThe faithful gather in 2005 near St. Peter's to witness Pope John Paul II's body being carried into the Basilica for public viewing.

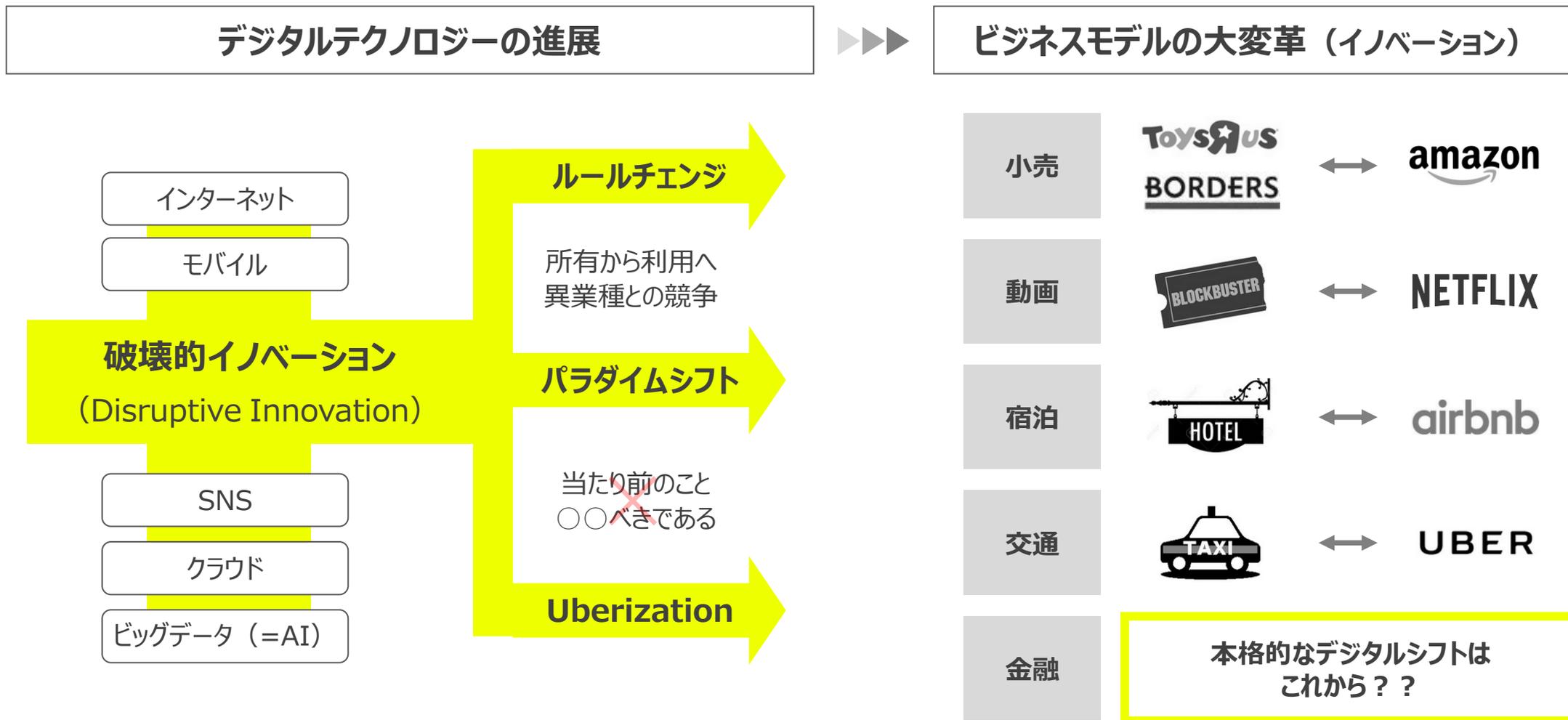


出典：NBC NEWS [http://photoblog.nbcnews.com/\\_news/2013/03/14/17312316-witnessing-papal-history-changes-with-digital-age](http://photoblog.nbcnews.com/_news/2013/03/14/17312316-witnessing-papal-history-changes-with-digital-age)  
Michael Sohn/ APSt. Peter's Basilica at the Vatican, on March 13, 2013.



# デジタルテクノロジーの進展に伴うイノベーション (Digital Banking Transformation : DBXの必然性)

- あらゆる業界でデジタルテクノロジーの進展に伴うイノベーションが起きているが、金融業界の本格的なデジタルシフトはこれから？

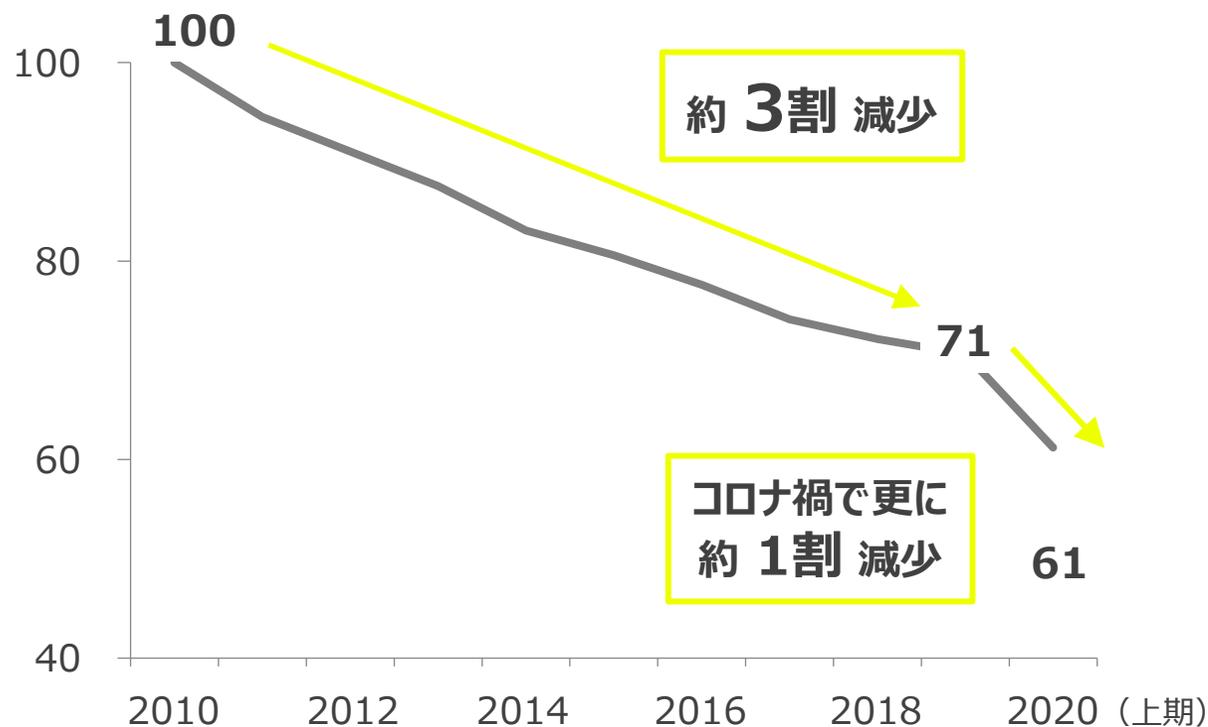


# 金融取引における利用チャネルの変化

- 金融取引は急速に「対面」（店舗）から「非対面」（オンライン）にシフト。新型コロナウイルス感染症による行動様式の変化でその傾向は更に加速。

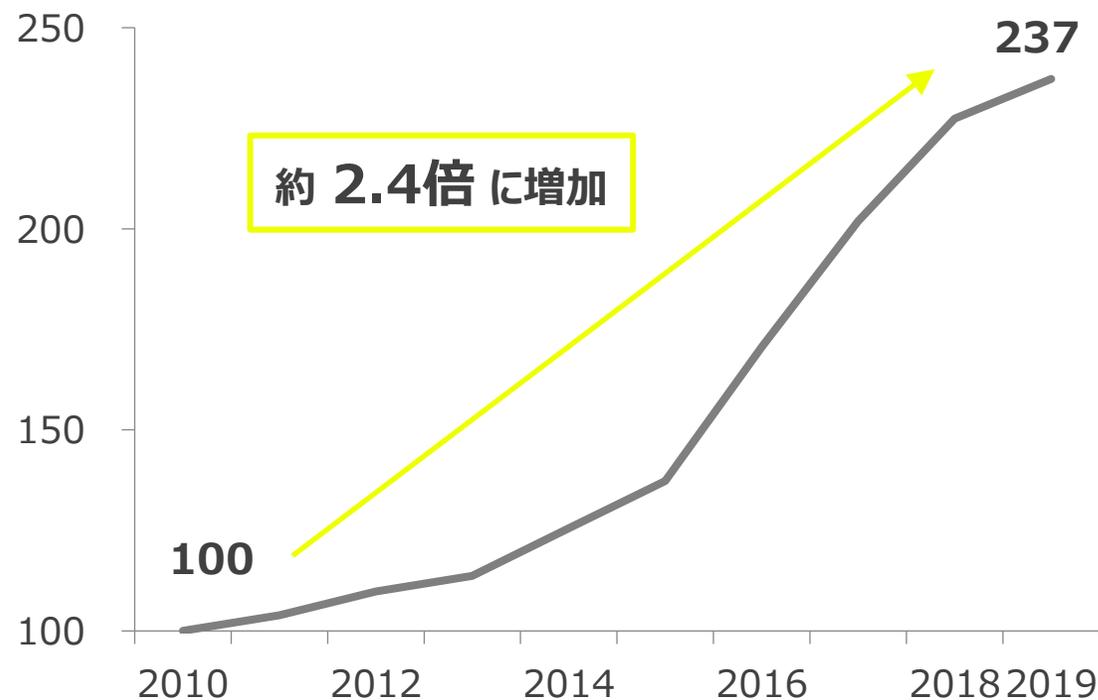
## 銀行窓口来店客数の推移（1日・1店舗あたり）

福岡銀行実績（2010年を100として比較）



## インターネットバンキングの年間取引件数（個人・法人）

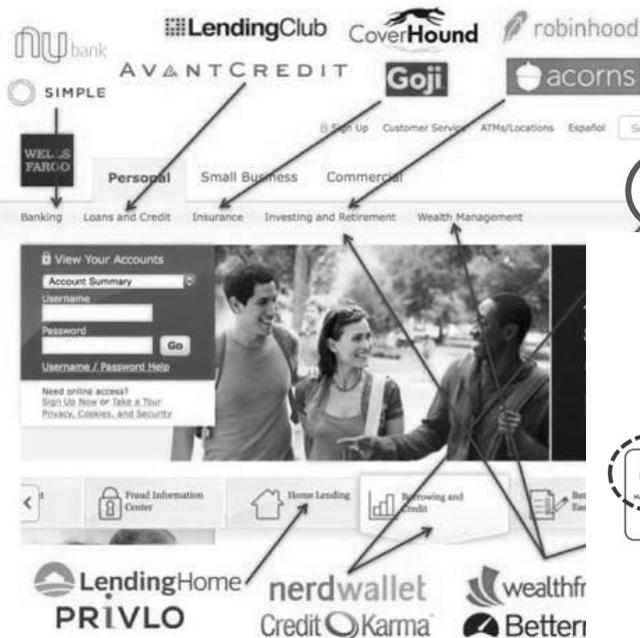
福岡銀行IBの残高照会件数（2010年を100として比較）



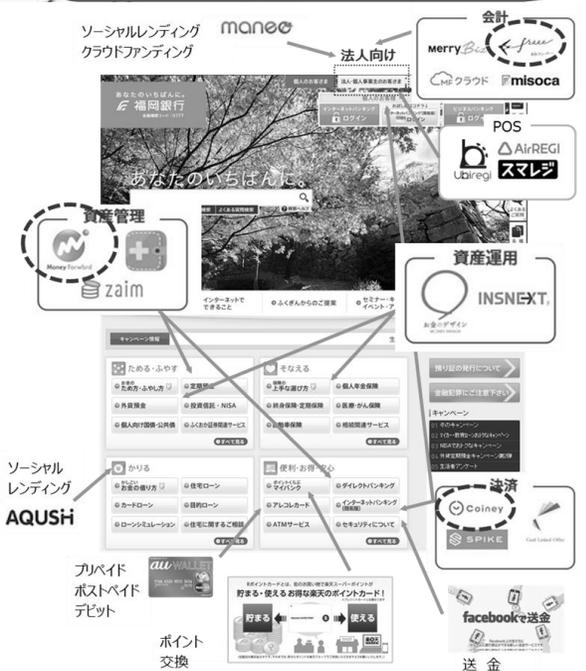
# ディストラプター・非金融事業者による金融領域への参入

- 2015年（日本）～ブームとなったFinTechは、金融・銀行をアンバンドリング（＝バラバラにした）と言われたが、既に自らの巨大な経済圏（エコシステム）を構築している“GAFA”は、「銀行」そのものを置き換えるポテンシャルを持つ。

米 Wells Fargo の Web トップページ



福岡銀行の Web トップページ



FinTechによる金融サービスの浸食  
 → Digital Giantsによる  
 金融サービスの淘汰が始まるのか？

米 J.P.Morgan Chase の Web ページ（法人取引）



## 「アマゾン銀行」認めるか 金融庁、異業種参入を議論

金融機関

2018/6/14 19:42 [有料会員限定]

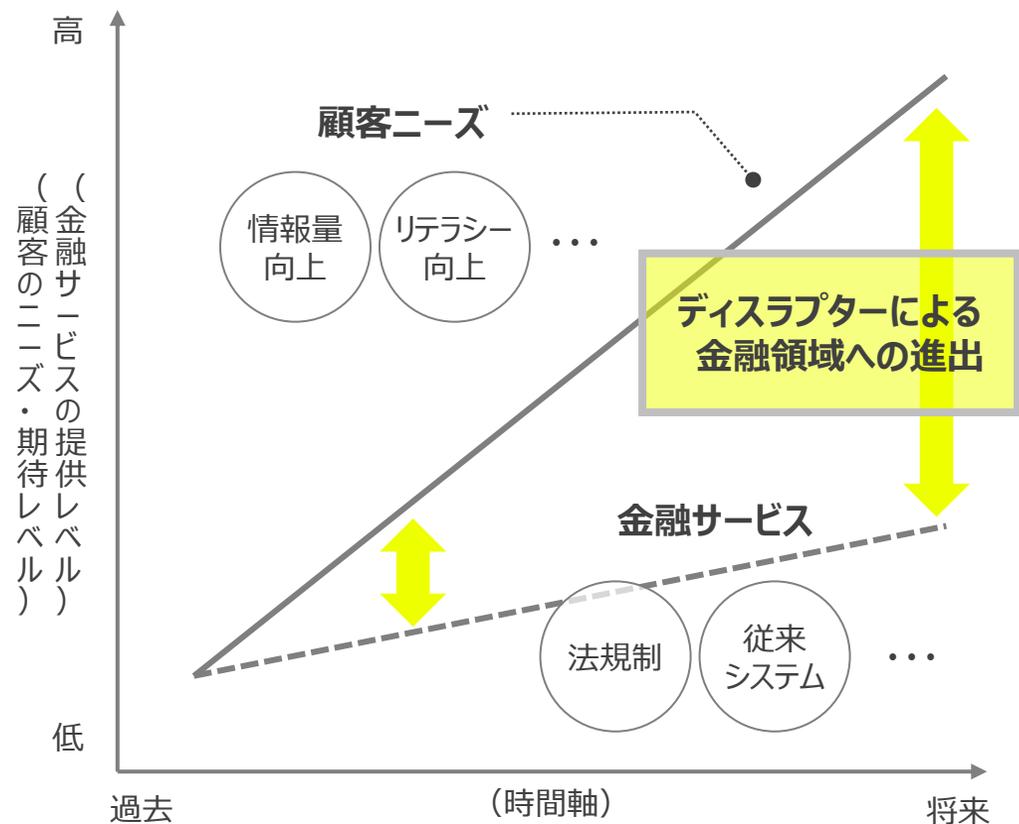
保存 共有 印刷 GOM E Twitter Facebook その他

米アマゾン・ドット・コムが日本で銀行業を始めたいと言い出したら、金融庁は認可するのだろうか。米国は規制の壁が厚く、異業種参入を事実上禁止。一方、日本はセブン銀行や楽天銀行など参入を認めている。商業と銀行の融合が新たな金融リスクを招くのか否か。金融庁も将来起こり得るシナリオと見て、認めるか見直すか議論を始めた。

# 顧客期待と金融サービス提供レベルのギャップ

- 金融サービスの提供レベルと顧客ニーズ（期待レベル）のギャップの拡大に伴い、2010年代後半から金融領域へのディスラプター（非金融事業者含む）の参入が急速に進展。

## 顧客ニーズと金融サービスの提供レベルの乖離



## 金融業界における非金融事業者参入の歴史



座して死を待つよりは、出て活路を見出さん。

# “デジタルトランスフォーメーション（DX）”とは？

- 『デジタルトランスフォーメーション』とは、既存企業がデジタル技術を活用して自ら変身・進化していくことであり、「成長や競争力に繋がる業績インパクト」があることが必須条件。

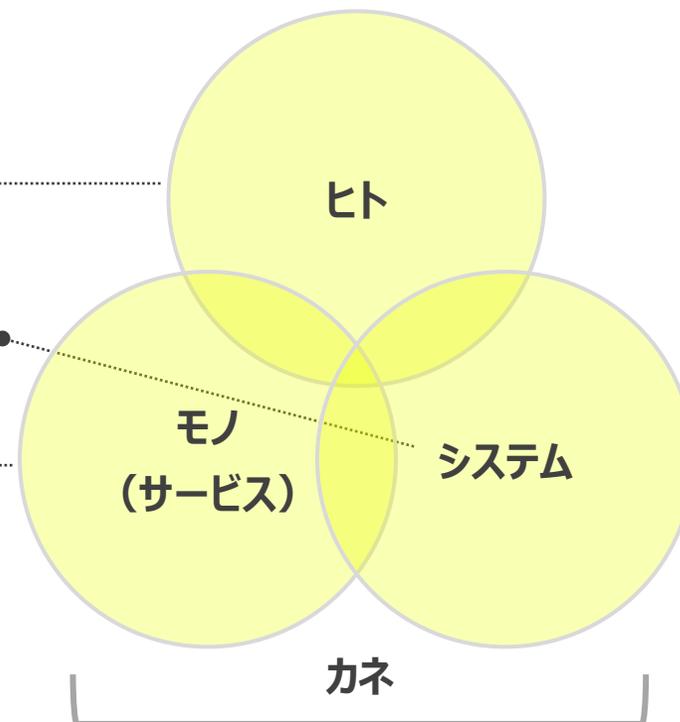
一般的な

## Digital Transformation とは・・・ ※ IDC Japan定義

- ① 企業が外部環境（顧客・市場）の劇的な変化に対応しつつ
- ② 内部環境（組織・企業・文化・従業員）の変革を牽引しながら
- ③ 第3のプラットフォーム（クラウド/ビッグデータ・アナリティクス/ソーシャル/モバイル）を利用して
- ④ 新しい製品・サービス、ビジネスモデル、新しい関係を通して価値を創出し
- ⑤ 競争上の優位性を確立すること

= 対 Disruptor 戦略  
成長や競争力につながる業績インパクトがあること

プロセスや人、戦略など  
組織の大幅な変化を伴う



# DX実現に向けたアプローチ

- 地道な「**デジタイゼーション**」と、それを活用する「**デジタライゼーション**」が進んでいることが、DX実現に必要な条件であり、それらに加えて、「**人と組織**」の**変革**がなければ、成長や競争力につながるインパクトは実現できない。

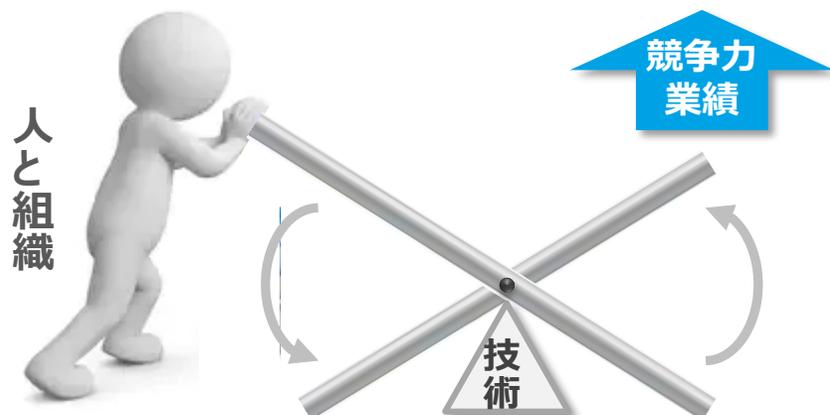
デジタル対応に課題を抱えるレガシー企業



**1 デジタイゼーション**  
**Digitization**  
----- (情報のデジタル化) -----  
今まで紙とハンコで進めてきた業務をペーパーレス化する等、アナログなものをデジタル情報として扱えるようにすること

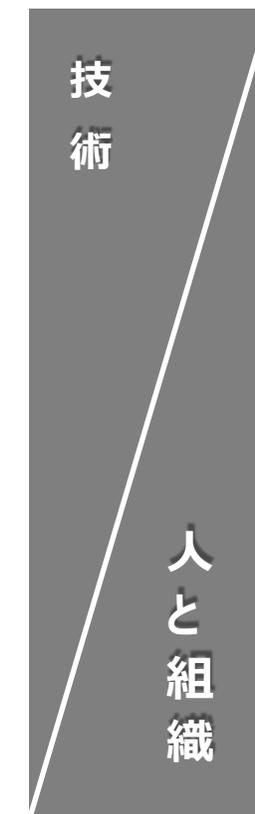
**2 デジタライゼーション**  
**Digitalization**  
----- (業務のデジタル化) -----  
デジタイゼーションでデジタルに置き換えたデータを利活用することで、さらにビジネスや業務全体を効率化すること

**3 デジタル トランスフォーメーション**  
**Digital Transformation**  
-----  
デジタイゼーション、デジタライゼーションを前提として、既存事業ではなく、新規事業や事業の変革を考えていくこと



既存事業

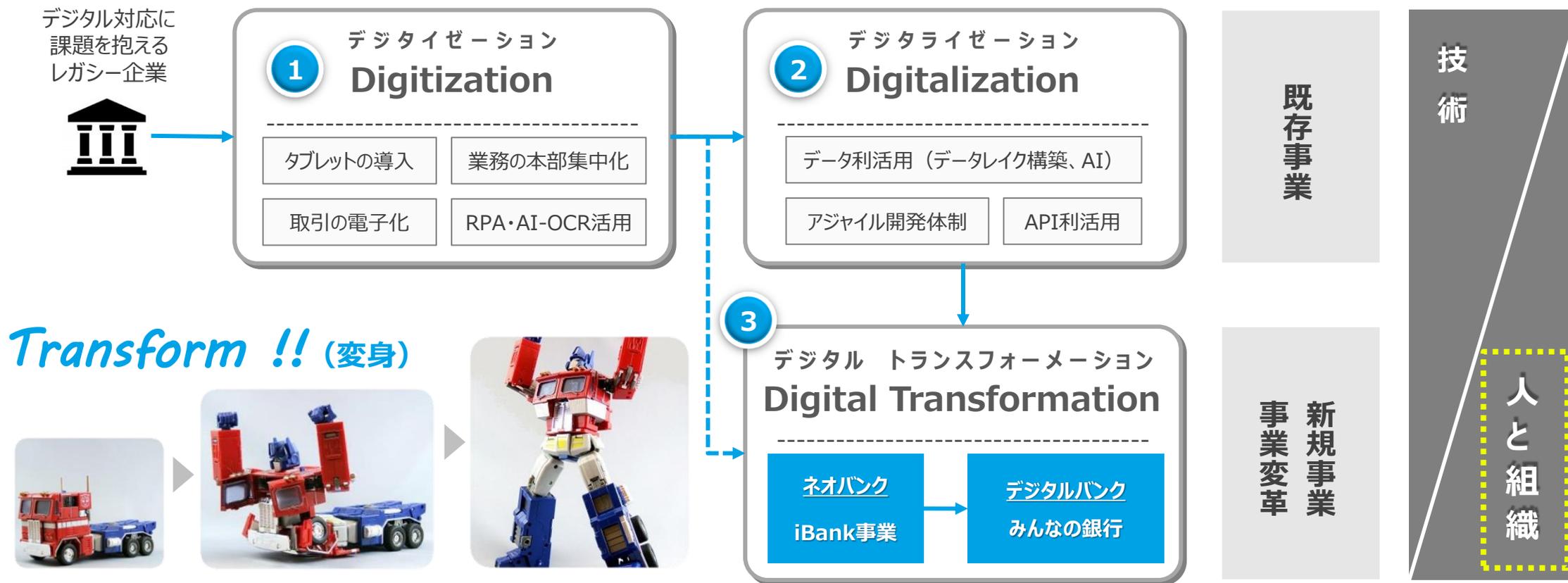
新規事業  
事業変革



※出典：及川卓也・著『ソフトウェア・ファースト あらゆるビジネスを一変させる最強戦略』（日経BP刊）を参考にFFG作成

# DX実現に向けたアプローチ（FFGにおける取組み）

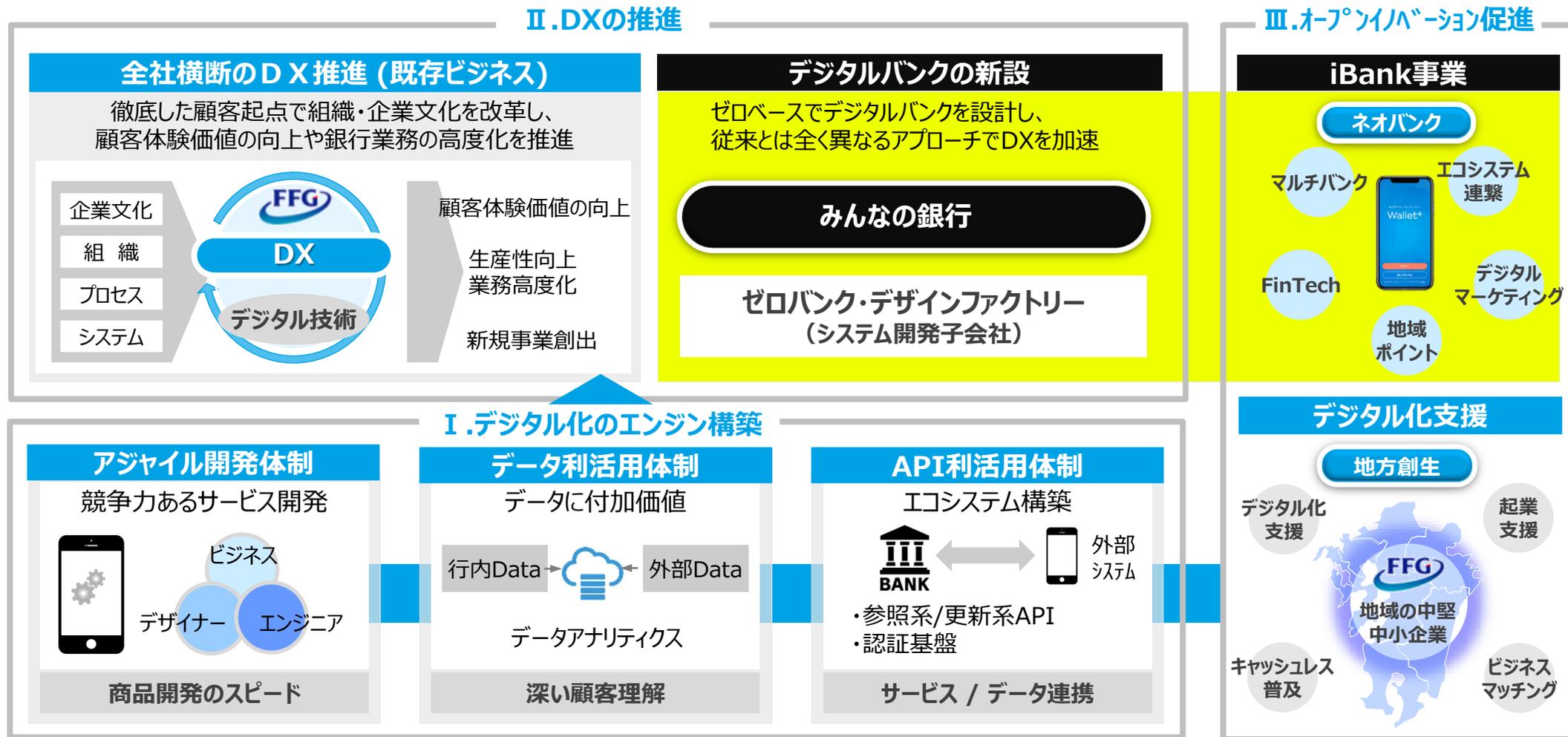
- FFGでは、DXを実現する3つのステップにおいて、関係各部が連携を取りながら全社横断で様々な取組みを推進中。



※出典：及川卓也・著『ソフトウェア・ファースト あらゆるビジネスを一変させる最強戦略』（日経BP刊）を参考にFFG作成

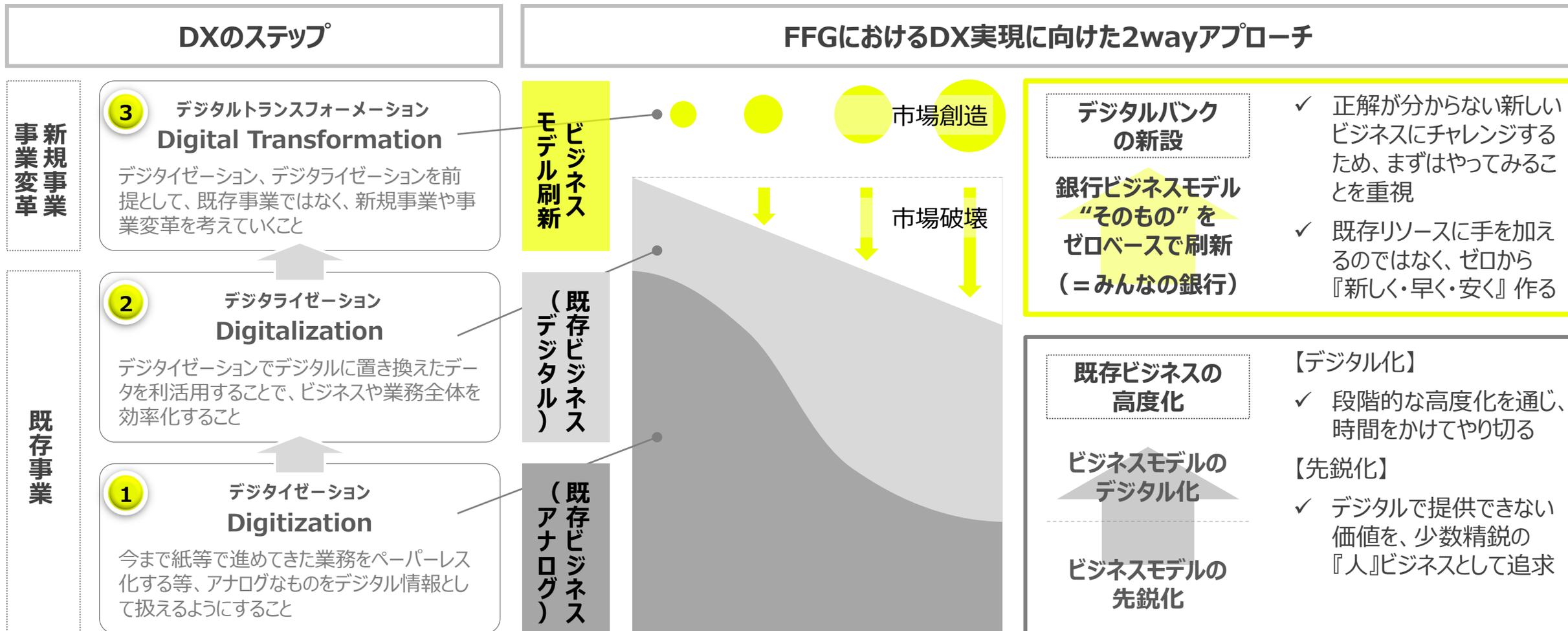
# DX実現に向けた取組みの全体像

- FFGでは、全社横断のDX推進で既存ビジネスの競争優位を目指すと共に、デジタルネイティブバンクの新設で、一足飛びのDXを並進。



# FFGのDX ～ 2wayアプローチ（両利きの経営）～

- FFGでは、金融機関におけるDXの実現に向けて、既存ビジネスの高度化とデジタルバンクの新設を並進する 2wayアプローチ（両利きの経営）を採用。



# Contents

- デジタルがもたらす環境の変化とFFGのDX
- **ネオバンクとしての『iBank』**
- デジタルバンクとしての『みんなの銀行』

フィンテック

ネオバンク

チャレンジャーバンク

デジタルバンク

国内

海外

デジタルで銀行商品を代替（個別）

Kyash

Paypal

銀行でない

デジタルで銀行商品を代理提供

Bank

Simple

銀行代理業

デジタルで『銀行』を再デザイン

III みんなの銀行

N26

銀行

デジタルで『銀行』を再定義

III みんなの銀行

coming soon

銀行

# ネオバンクとしての『iBank』 夢までの距離が見えるマネーアプリ 『Wallet+』



- 2016年 7月、iBankの中核プロダクトとして、金融機能と非金融機能を融合させた新サービス、銀行公式アプリ『Wallet+ (ウォレットプラス)』をリリース。
- リリースから 5年で **150万** ダウンロードを突破！



# ネオバンクとしての『iBank』 金融と非金融をつなぐ新しい金融サービスのカタチ



## Wallet+のサービス鳥瞰図

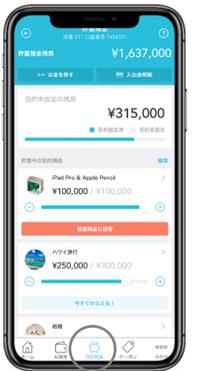
**収支管理**  
 ✓ 口座明細  
 ✓ カード明細  
 (デビット&クレカ)



**収支結果  
レコメンド**



**余剰資金の  
貯蓄・運用**



**(キャッシュレス) 決済**



✓ In App  
プロビジョニング

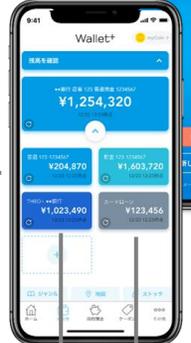
**目的預金**  
 ✓ ちょこっと預金  
 ✓ バーチャル口座



**資産運用**

金融サービス  
FinTech

**残高  
確認**



**カードローン**

非金融サービス  
Marketing

**ホーム  
画面**



**参画銀行の  
各種金融サービス**  
 ✓ ダイレクトバンキング  
 ✓ QR決済 など



ポイントサービス  
myCoin

**情報コンテンツ  
mymo**



**ランチャー機能  
(その他)**  
 ✓ ふるさと納税  
 ✓ 他社連携



もらう  
 ✓ 銀行サービス  
 ✓ キャンペーン  
 ✓ P2P送付

つかう  
 ✓ キャッシュバック  
 ✓ ポイント交換  
 ✓ ポイント投資

**クーポン配信**  
 ✓ miniクーポン  
 ✓ myクーポン  
 ✓ CLO機能搭載



**地域総合商社  
エンニチ**  
 ✓ クラウド  
ファンディング  
 ✓ ECモール  
 ✓ ブランディング  
サポート



Concept I

FinTech

スマホから  
身近な  
マネーサービスを

Concept II

ローカルエコシステム  
&データ利活用

銀行（金融）以外の  
サービスも搭載

Concept III

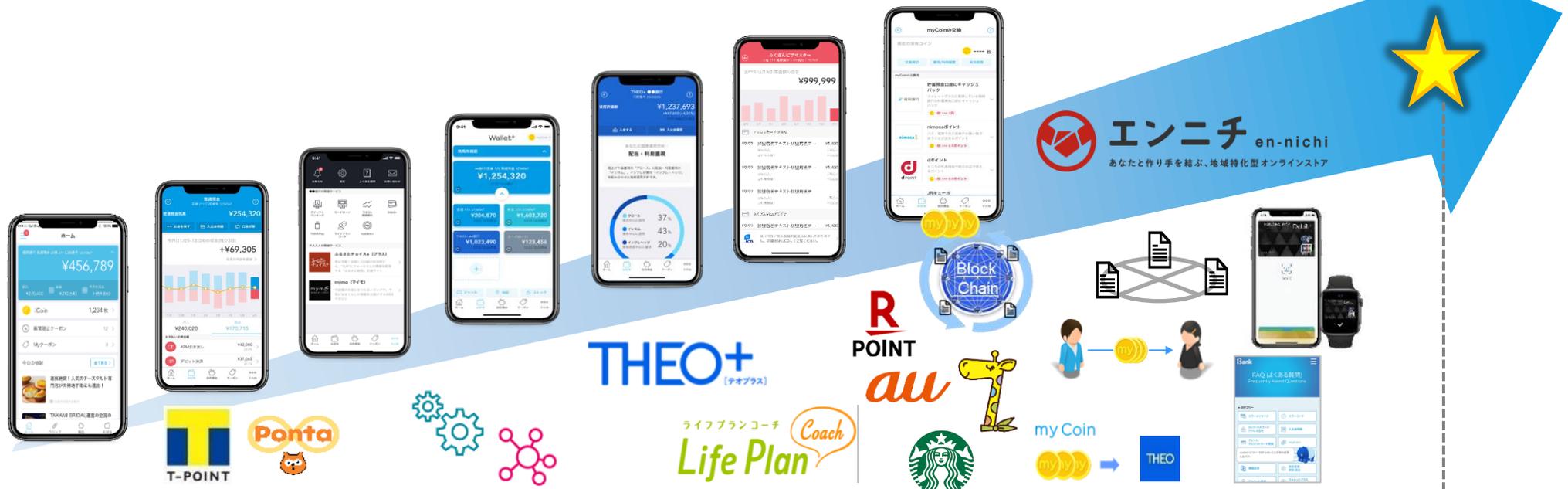
オープンバンキング

地域連携モデル

# 圧倒的な顧客接点を活かした金融サービスプラットフォーム



- Wallet+リリース後、既存サービスの機能改善・高度化は勿論のこと、**新サービスの開発、導入をスピード感をもって実施。**
- 金融・非金融を問わず、また、自社開発・他社サービスの導入を問わず、iBankの世界観やユーザー・銀行サービスに資するかという観点で今後も各種機能を追加・改善。



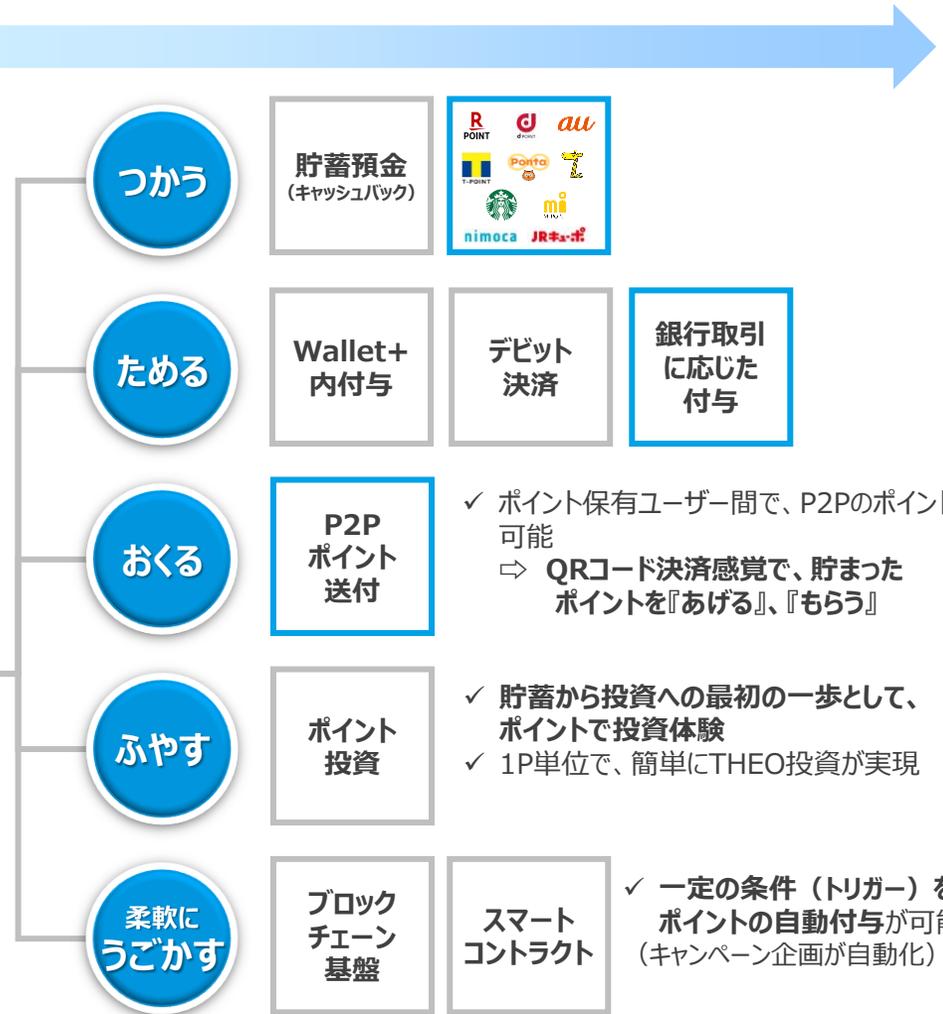
2016.6	2016.10	2017.7	2017.9	2018.3	2018.10	2019.3	2019.9	2020.6	2020.12	2021~
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 残高照会</li> <li>✓ お財布</li> <li>✓ 目的預金</li> <li>✓ クーポン</li> <li>✓ コンテンツ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 13か月明細表示</li> <li>✓ デビット明細表示</li> <li>✓ ポイントサービス追加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ カードローン機能</li> <li>✓ ランチャー機能</li> <li>◆ 熊本・親和銀行導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ デザイン刷新</li> <li>✓ 分析高度化ツール導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ THEO機能</li> <li>✓ カードローン申込</li> <li>◆ 沖縄銀行導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 複数口座登録</li> <li>✓ クレカ明細表示</li> <li>✓ ライフプランコーチ連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>ポイント機能刷新</b></li> <li>✓ 交換先追加</li> <li>◆ 広島銀行導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地域総合商社エンニチ</li> <li>✓ ユーザ間ポイント交換</li> <li>◆ 山梨中央、南都、十六銀行導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ プロビジョニング</li> <li>✓ スマートコントラクト</li> <li>✓ AIチャットボット</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ リファラル機能</li> <li>◆ 佐賀銀行導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 無通帳化</li> <li>✓ カードローン複数表示</li> <li>✓ 銀行データ蓄積施策 and more</li> </ul>

# サービスコンセプト I : FinTech ブロックチェーンを活用したポイントサービス myCoin



## myCoin の機能概要

ブロックチェーン基盤を活用したWallet+のポイントサービス



**つかう**

貯蓄預金 (キャッシュバック)

**ためる**

Wallet+ 内付与    デビット 決済    銀行取引 に応じた 付与

**おくる**

P2P ポイント 送付

- ✓ ポイント保有ユーザー間で、P2Pのポイント授受が可能
- ⇒ QRコード決済感覚で、貯まったポイントを『あげる』、『もらう』

**ふやす**

ポイント 投資

- ✓ 貯蓄から投資への最初の一步として、もらったポイントで投資体験
- ✓ 1P単位で、簡単にTHEO投資が実現

**柔軟にうごかす**

ブロックチェーン 基盤    スマート コントラクト

- ✓ 一定の条件 (トリガー) を起点にポイントの自動付与が可能 (キャンペーン企画が自動化)

**共通ポイント 交換**

10の事業者とポイント交換 (今後も追加)

交換可能ポイントは **10** 種類に!

**銀行取引に応じた付与**

キャンペーンや各種取引ごとにユーザーに対して利得付与

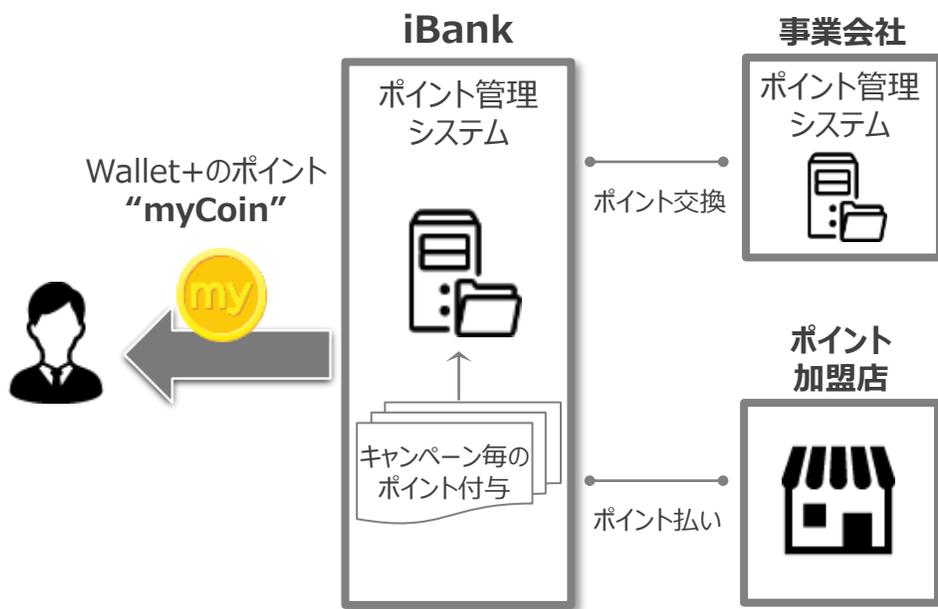
**P2P ポイント 送付**

ポイント流通量に応じて、将来的には地域通貨的な存在に

QRコードによる受取も可能

- iBankが構築するポイントプラットフォーム（myCoin）では、スマートコントラクトによる柔軟なキャンペー設計の他、事業会社向けの独自ポイント発行、クロスチェーンによる外部ブロックチェーンとの価値交換も想定。

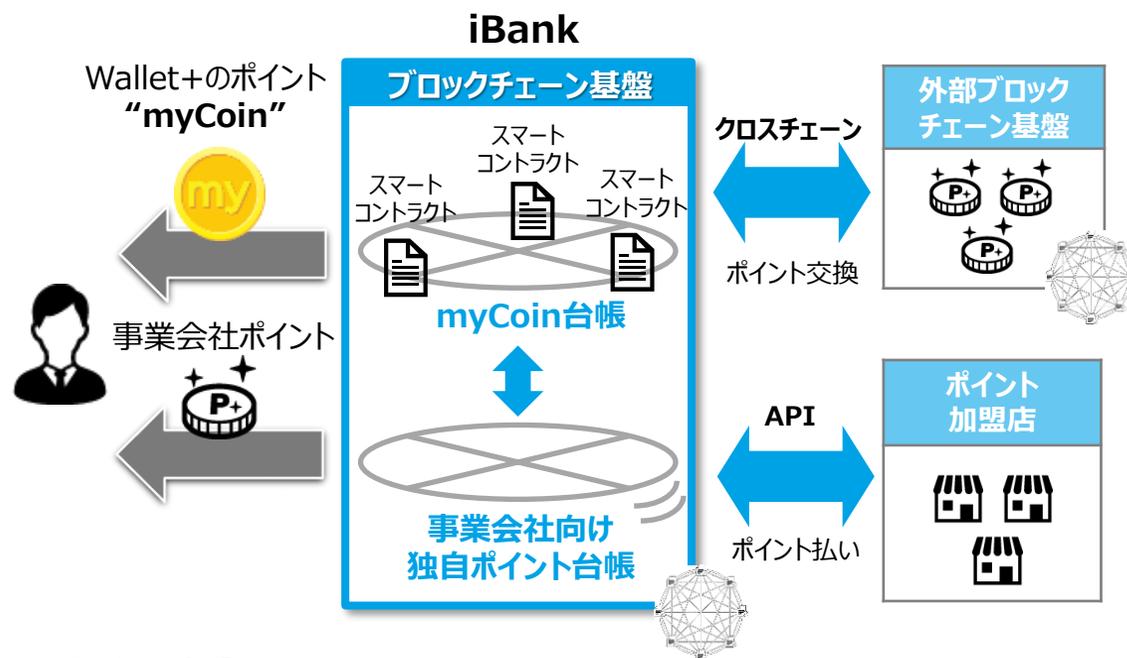
## 今までのポイント管理の仕組み



### 【課題】

- ✓ キャンペーンは手作業でのポイント計算・付与が必要
- ✓ 事業会社がポイント発行するには個別にシステム構築が必要
- ✓ 他ポイント交換は個別にシステム接続が必要

## myCoin ポイントプラットフォーム



### 【メリット】

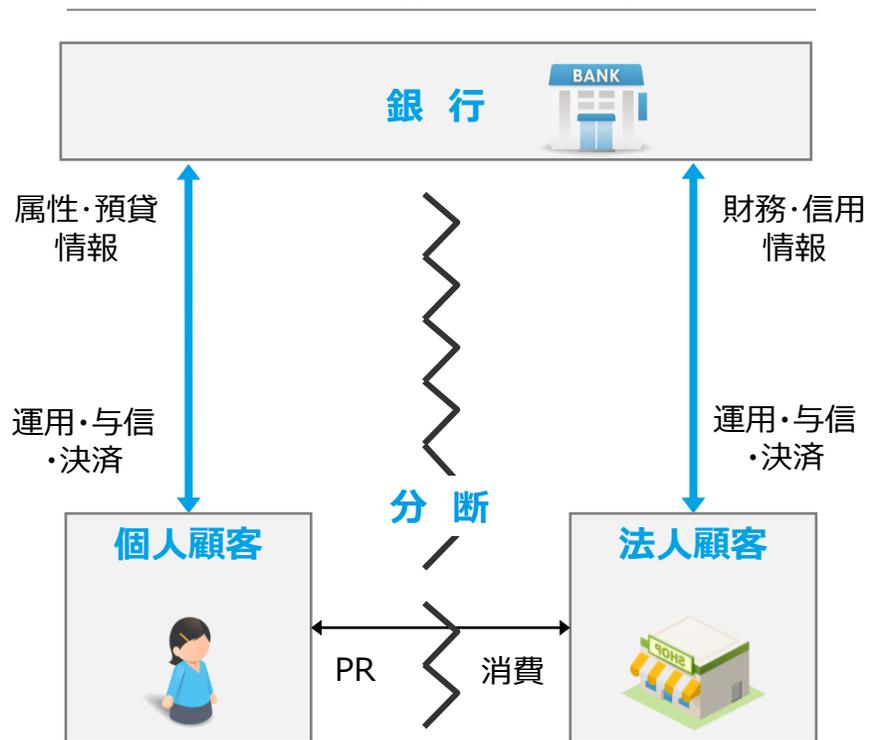
- ✓ キャンペーンは**スマートコントラクト**で柔軟に設定・自動化可能
- ✓ 事業会社はiBankプラットフォームで**独自ポイント**発行可能
- ✓ 他ポイント交換は将来的に**クロスチェーン**で簡易に実現可能

# iBankが構築するマーケティング & エコシステムプラットフォーム

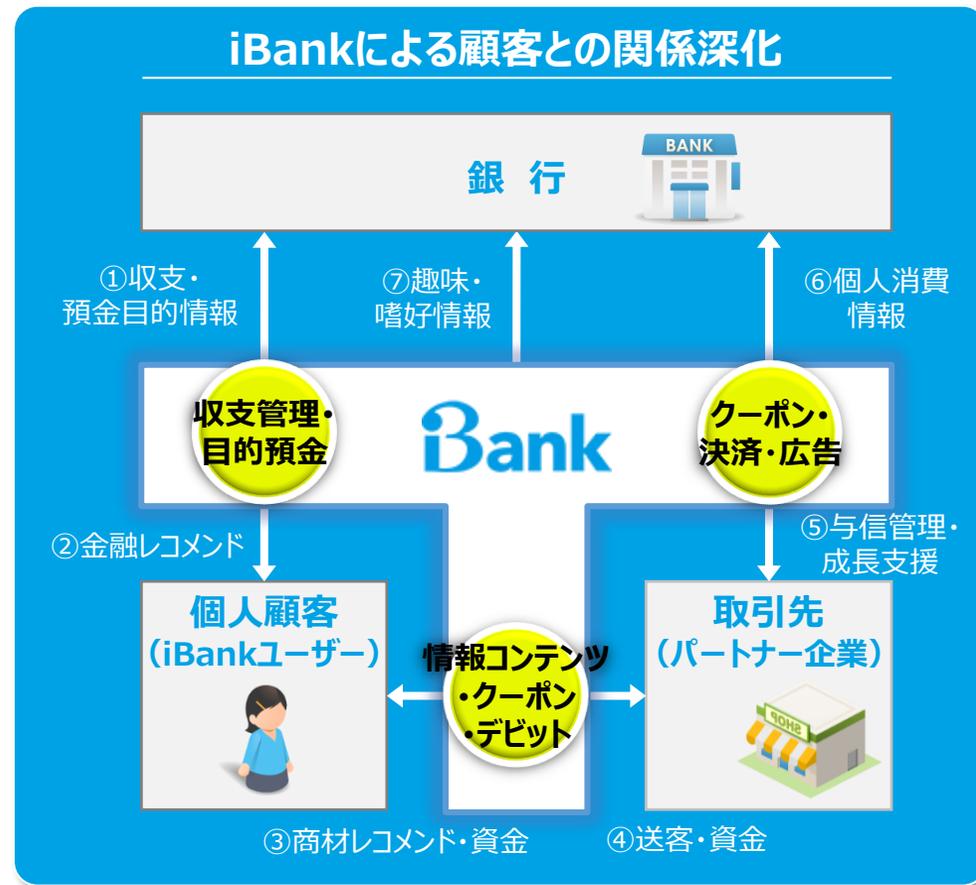


- iBankでは、**銀行のフロントエンドサービス**という位置付けで、「銀行と個人」、「銀行と法人」、そして「個人と法人」の間をつなぐ役割を果たすことで、銀行の強みである**金融情報**に加え、銀行サービス単体では得ることができなかった**非金融情報**を組み合わせ、より深く「顧客を知る」ためのデータマーケティングのプラットフォームを構築。

これまでの銀行と顧客との関係



iBankによる顧客との関係深化



# サービスコンセプト II : ローカルエコシステム (データ利活用) 地場企業のデジタルシフトをサポート



- スマホアプリを介してコンタクトしたい顧客との接点を確保し、「金融」×「非金融」データを活用したマーケティング施策を展開することで、効率的に「個」客へのリーチを実現。マーケティングにおける地場企業のデジタルシフトをサポート。



**事例 1**  
ハウスメーカー **A社**

- ✓ 紙媒体に依存した広告からの脱却
- ✓ Web広告を社内運用していたが、成果上がらず、リソースにも限界

- ✓ LP (特設ページ) 制作
- ✓ Wallet+/Googleへの広告出稿
- ✓ バナー制作

- 1 来場顧客の増加**
  - ➔ Google広告出稿により、見込客へのリーチが増加し、資料請求や来場予約が増加
- 2 デジタル広告シフト**
  - ➔ 新聞広告、チラシからデジタル広告へシフト

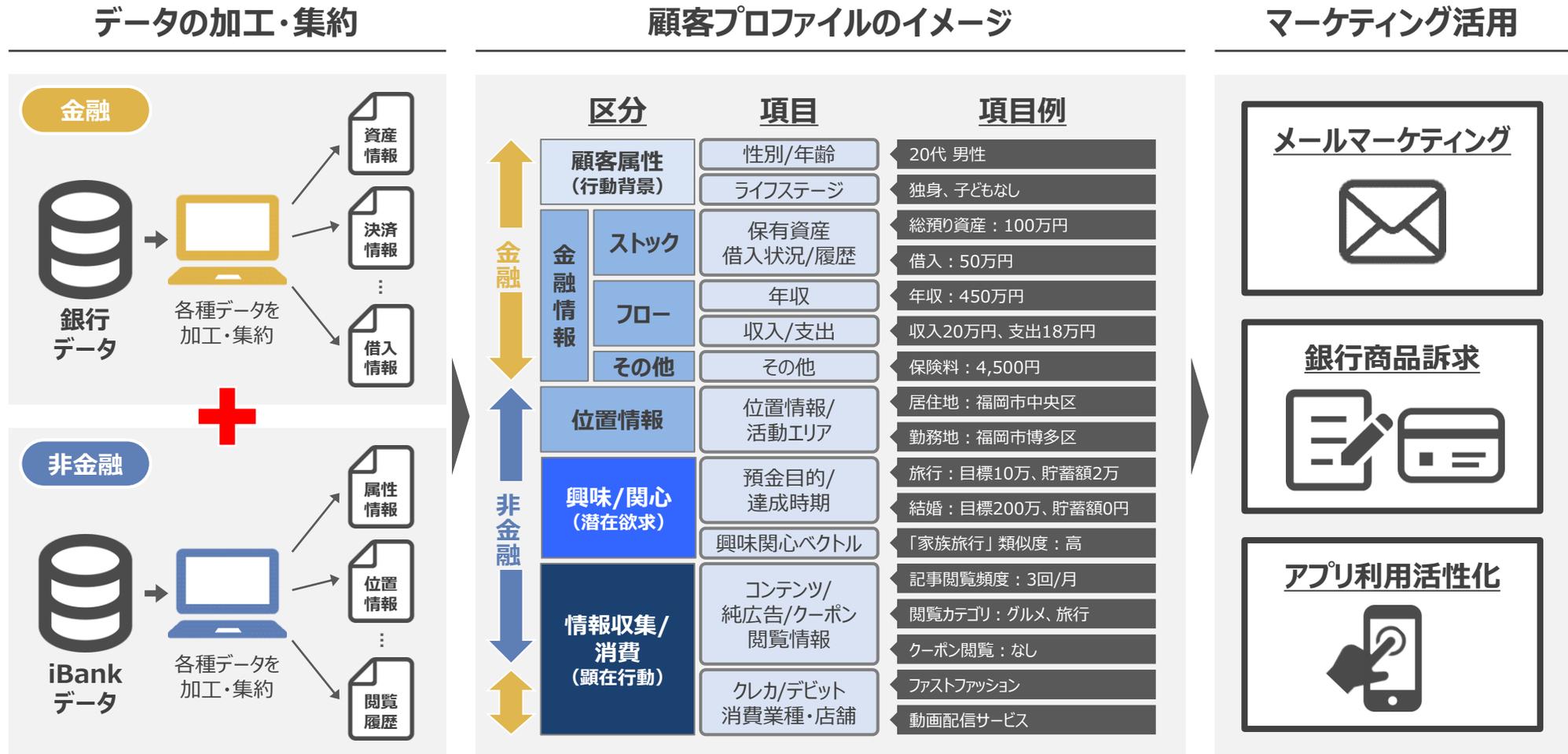
**事例 2**  
カーディーラー **B社**

- ✓ 鈍化する折込チラシによる集客に対する漠然とした不安
- ✓ デジタル知識を有する社員不在

- ✓ LP (特設ページ) 制作
- ✓ Wallet+上での広告テスト
- ✓ Googleへの広告出稿

- 1 社内ノウハウの蓄積**
  - ➔ 適切なフォローにより、社内のデジタルマーケティングに関する知識が蓄積
- 2 デジタル広告シフト**
  - ➔ 新聞広告、チラシからデジタル広告へシフト

- 『個』客単位でのマーケティングを可能にするため、金融・非金融データを整理し、属性から潜在的なものまで幅広くカバーする顧客プロフィールを作成。様々な情報を組み合わせることでユーザーの「顔」を見える化。



# サービスコンセプト Ⅲ：オープンバンキング 地域連携によるローカルエコシステムの拡張



- 新しいマネーサービス“iBank”は、FFGの枠組みを越えてサービス連携行の“輪”を拡大中。
- 地域金融機関を各エリアにおけるハブとして、地域連携によるローカルエコシステムの更なる拡張を目指す。

## 更なるエコシステムの拡張・連繋を目指して

日本縦断型のローカルエコシステムの拡張を目指して  
サービス連携行の“輪”が拡大中！



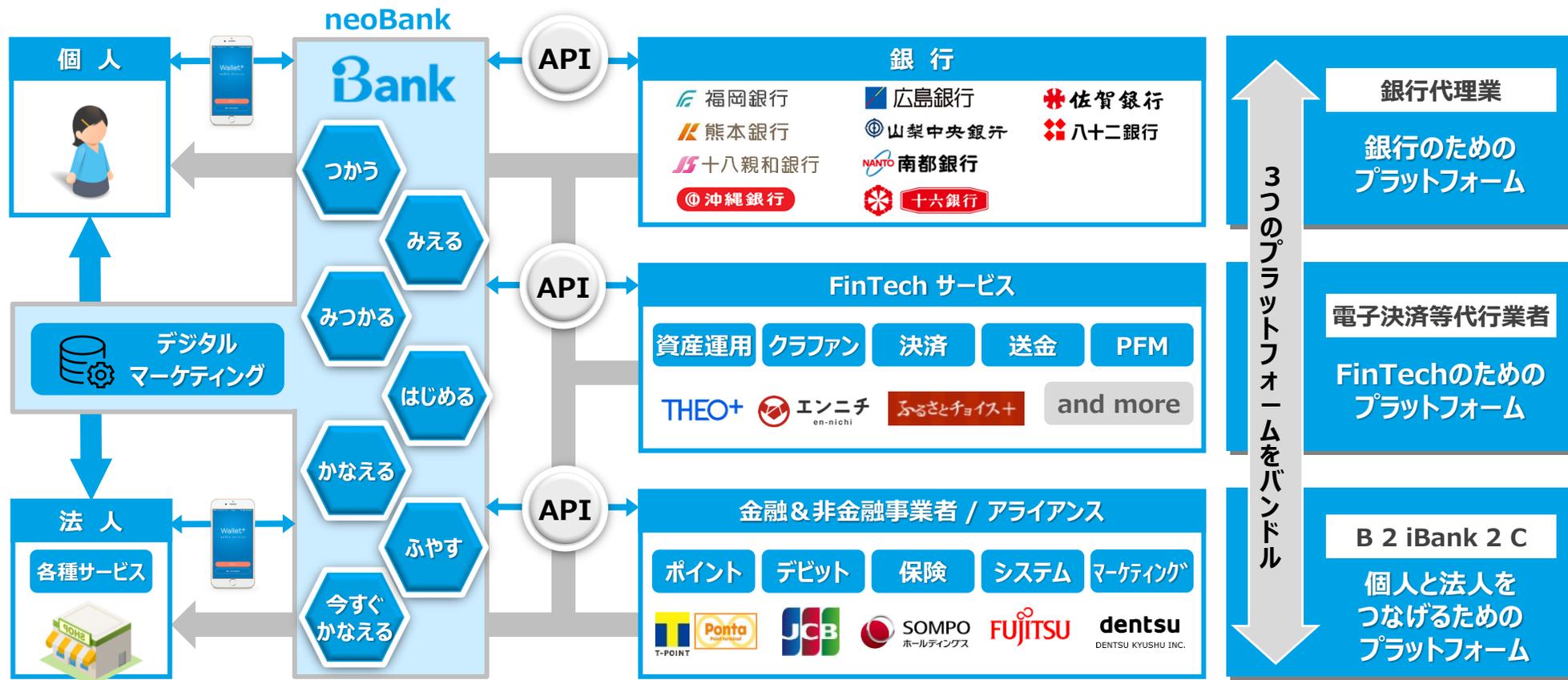
## オープンバンキング／マルチバンク化（複数銀行対応）のイメージ



# “つながる” マネーサービスを目指して ～ iBank as a Service ～



- 企業ミッションである『地域との“つながり”をデザインする』の実現に向けて、『銀行のためのプラットフォーム（銀行代理業）』、『FinTechのためのプラットフォーム（電代業）』、『個人と法人をつなげるためのプラットフォーム（B2B2C）』をバンドルする存在へ。



これまでにない 金融と非金融が “つながる” プラットフォームサービスを提供

## iBank を通じて得られたもの。



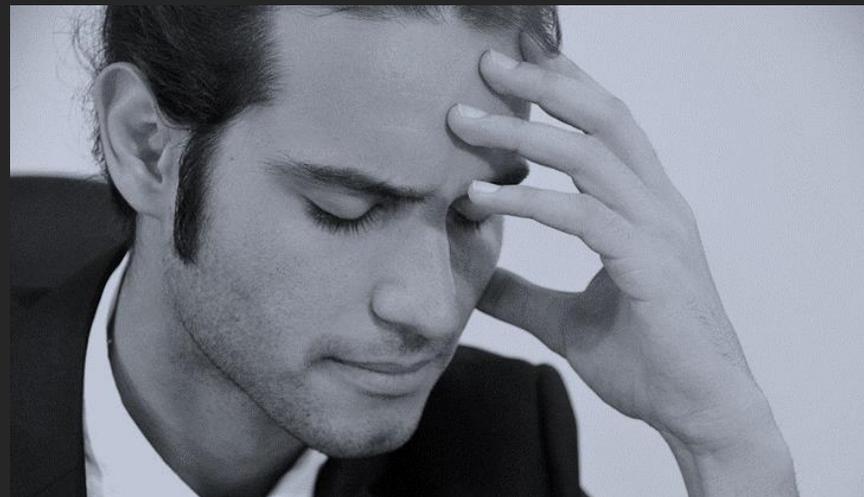
銀行（本体）と別エンティティにしたことで、

FFGの  
DX 1.5

- ☑ 顧客起点のサービス設計が基本
- ☑ データに基づく顧客理解とマーケティングの高度化
- ☑ アジャイル開発により、試行錯誤を繰り返しながら良いモノを創る
- ☑ APIを活用した新しいサービス体験の提供
- ☑ 『金融』に閉じない隣接するサービス領域との連携
- ☑ 組織の意思決定のスピードUP
- ☑ 新しいカルチャーの創造

## 銀行（本体）はこのままで良いのか？

- 『顧客起点』といいながら、コモディティ化
- データは大量にあるが、上手く使いこなせない
- ウォーターフォール型の開発で、完成するまでウケるかどうかが見えない（改修も時間とコストがかかる）
- APIの使い途が見えない／わからない
- 『金融』の塀の中に閉じた世界
- 組織が縦割り&多階層
- 『お堅い』が専売特許



# Contents

- デジタルがもたらす環境の変化とFFGのDX
- ネオバンクとしての『iBank』
- デジタルバンクとしての『みんなの銀行』

Concept

# お金のあれこれ、スマホで完結

銀行をもっとシンプルにミニマルに。

友達にお金を送ったり、  
カードレスでATMから現金をおろしたり、  
預けたお金をスマホの中で整理したり、  
全財産の収支の流れを追いかけてみたり、

みんなの銀行はいろんなお金のアクションが  
ひとつのアプリで完結します。

お財布いらすの銀行です。



Target

# デジタルネイティブ世代の求める 新しい銀行のカタチを目指して

デジタル銀行（デジタルバンク）とは、デジタルネイティブ世代（1980年前後以降生まれ）をメインターゲットとし、デジタル起点なアプローチでつくる銀行のことです。従来の枠組みに捉われることなく「ゼロベース」から設計することで、デジタル時代に即した「全く新しい」銀行を目指しています。

お客さまがミニマルで質の高い人生を送るための、  
「価値あるつながり」を提供します。



Design

# 銀行をもっとシンプルに



いつでもどこでも  
指先ひとつ



軽快な  
インタラクション



カジュアルなイラスト



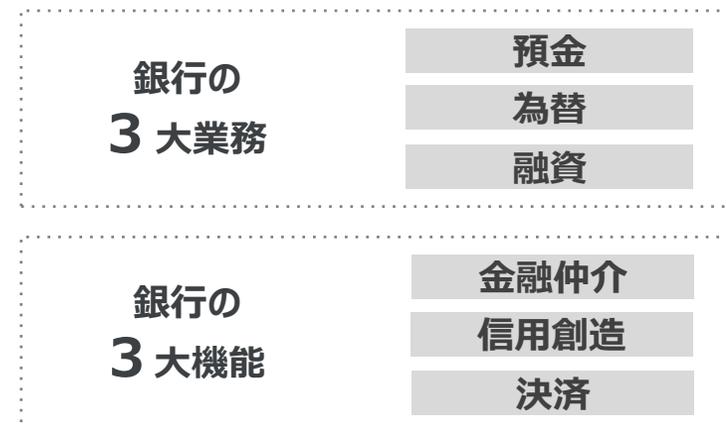
シンプルで  
直感的なデザイン

# 日本初のデジタルバンク『みんなの銀行』の概要

- 福岡ファイナンシャルグループ傘下の新銀行として、全国のデジタルネイティブ世代をターゲットにする『みんなの銀行』を設立。



これまでの銀行



みんなの銀行

銀行自身が、『銀行』を  
Re-Design (再デザイン)  
Re-Define (再定義) する

DXで再定義した『銀行』の将来像を追求

**exploration** (探求)

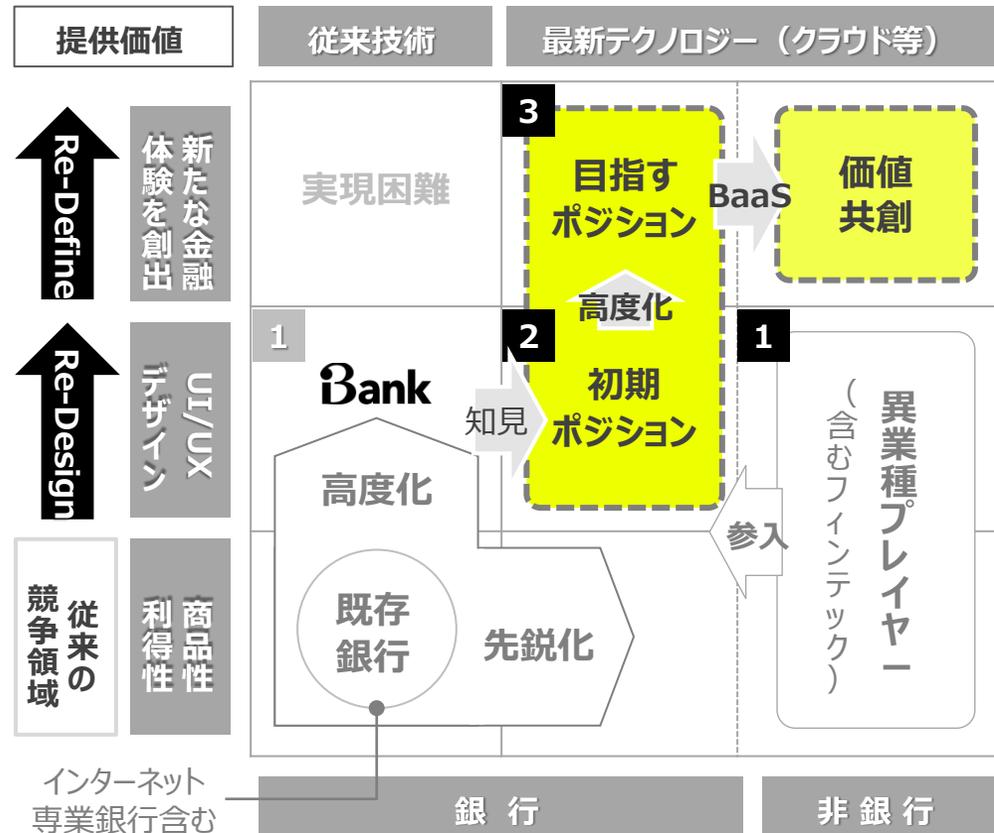
# 『デジタルバンク』とは？ ～ 既存のインターネットバンキング、ネット銀行との違い ～

- 『デジタルバンク』とは、効率性や低価格での価値提供に加え、ターゲットとなる顧客の課題・ニーズを解決するために、他社・他業態とのエコシステム形成を前提とした「付加価値提供」に主眼を置いた銀行。



- 『みんなの銀行』は、先行して立ち上げた日本初のネオバンク：iBankで得られた知見をベースに、日本初のチャレンジャーバンク・デジタルバンクとしてのポジションを確立すると共に、BaaSによるエコシステム連携を通じて「銀行」の枠組みを超えた新たな顧客体験の創出を目指す。

金融業界におけるポジショニングマップ（FFG作成）



金融DXの進化論（DBX : Digital Banking Transformation）



- デジタルで銀行商品を代理提供
- 金融×非金融のサービスイノベーション

- Re-Design
- デジタルで『銀行』を再デザイン
  - 優れたUI/UXで商品・サービスを向上

- Re-Define
- デジタルで『銀行』を再定義
  - デジタルネイティブなアプローチで銀行としての新たな機能を創造

FFGでは…

2016.4～  
Bank

2021.5～  
III  
みんなの銀行  
(初期)

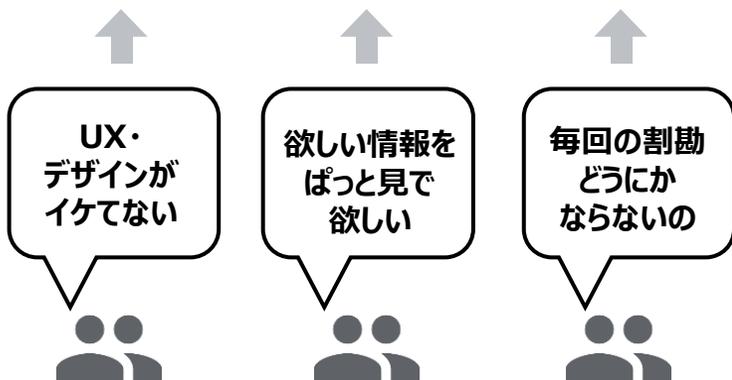
202x.xx～  
III  
みんなの銀行  
(将来)

- みんなの銀行の名前の由来でもある、『みんなの』に込めた思い。
- デジタルネイティブ世代が抱える課題・ニーズを解決するため、3つの『みんなの』コンセプトの実現を目指す。

## 1. みんなの『声』がカタチになる

顧客行動変容に即した『新しい』金融サービス

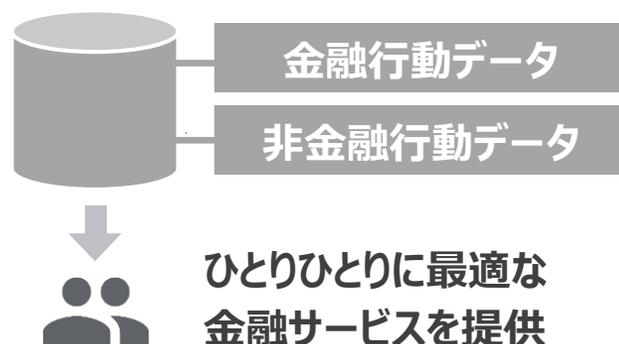
### みんなの銀行



## 2. みんなの『いちばん』を届ける

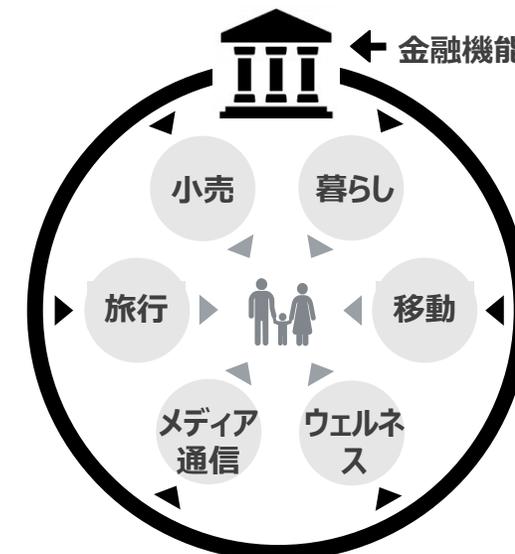
顧客理解に基づく総合金融コンシェルジュ

### みんなの銀行

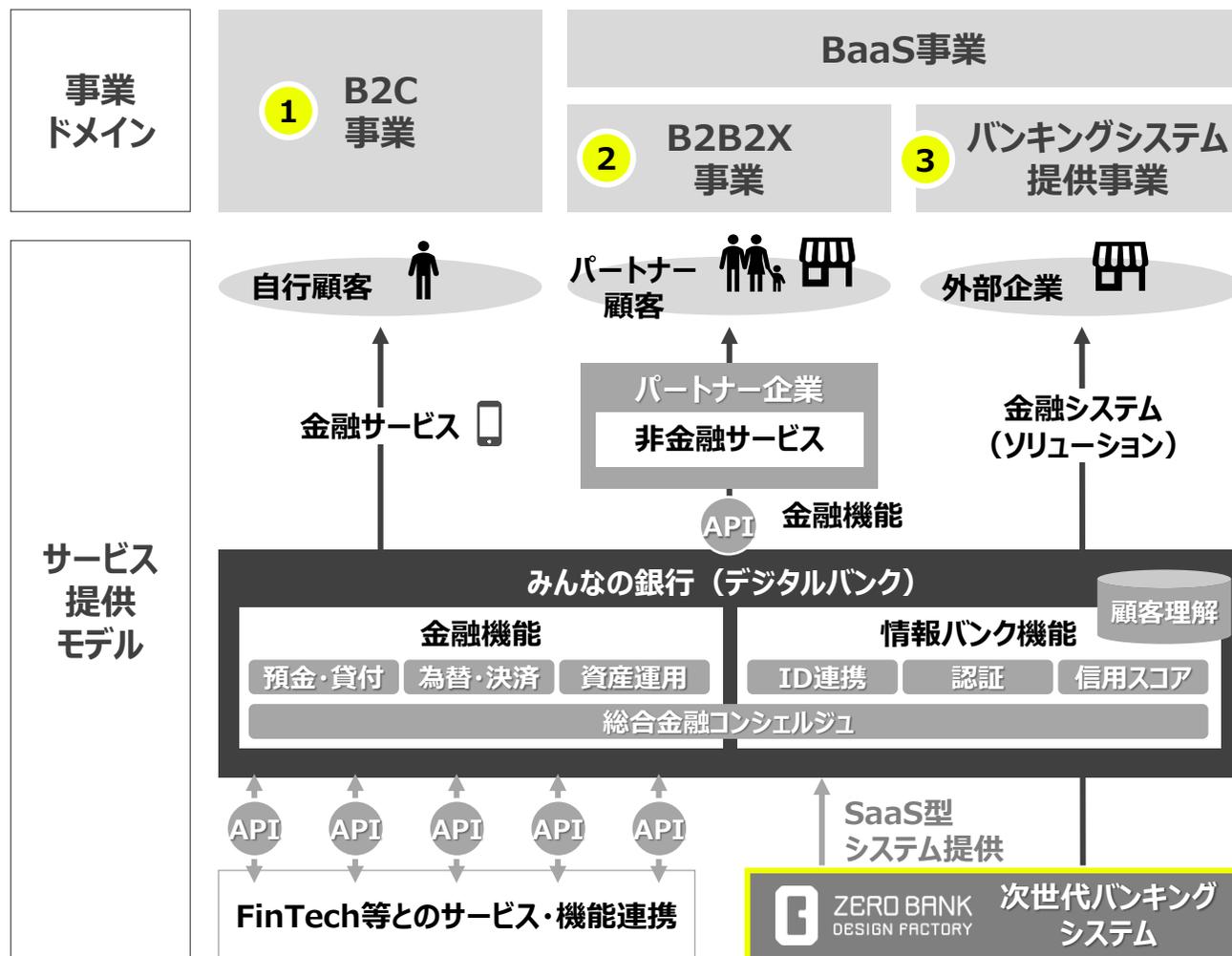


## 3. みんなの『暮らし』に溶け込む

BaaS事業 (Banking as a Service)



- ゼロバンク・デザインファクトリーが構築した次世代バンキングシステムを活用し、個人向け金融サービスの提供（B2C事業）を軸に3つの事業ドメインを段階的に展開。



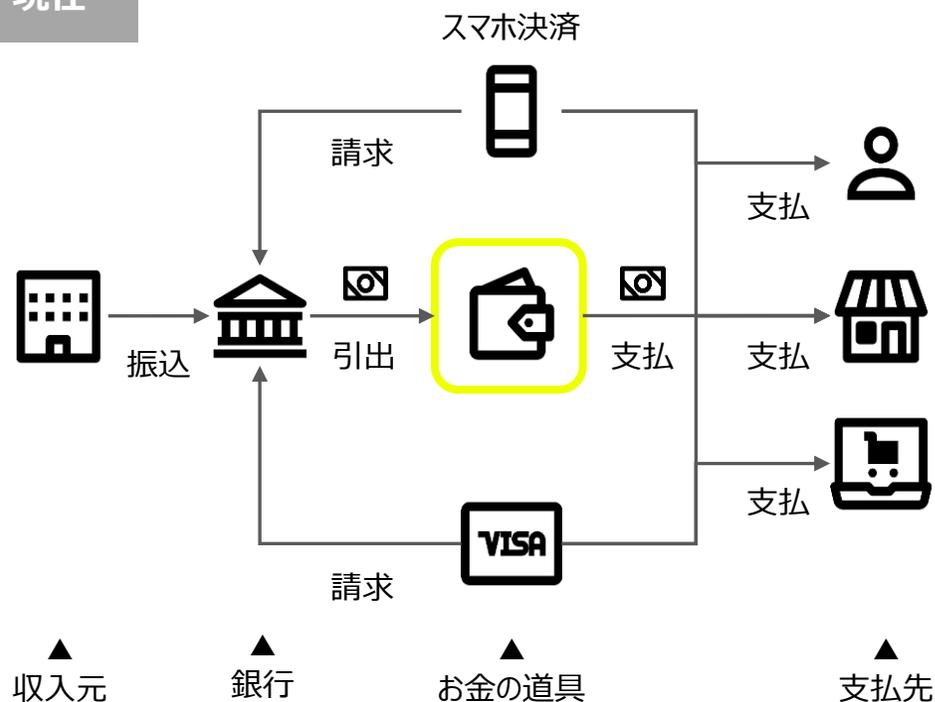
事業概要	
1 B2C事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代バンキングシステムを活用して、全国のデジタルネイティブ世代（個人）をターゲットに、スマホを通じた金融サービスを提供</li> </ul>
2 B2B2X事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなの銀行の金融機能・サービスを、APIを介してパートナー企業（法人）に提供（金融×非金融の新たな価値共創）</li> </ul>
3 バンキングシステム提供事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム開発/運用業務の内製化を進め、システム・機能自体を提供（販売）（非金融事業者に限らず金融機関も対象）</li> </ul>

- みんなの銀行のB2C事業では、従来より銀行が提供してきた「バンキング機能」に加え、日常のお金のやり取りや管理がスマホで手軽にできる「デジタルウォレット」を軸にした新しいスマホ専門銀行を展開。

リアルなウォレット（お財布）を中心とした世界

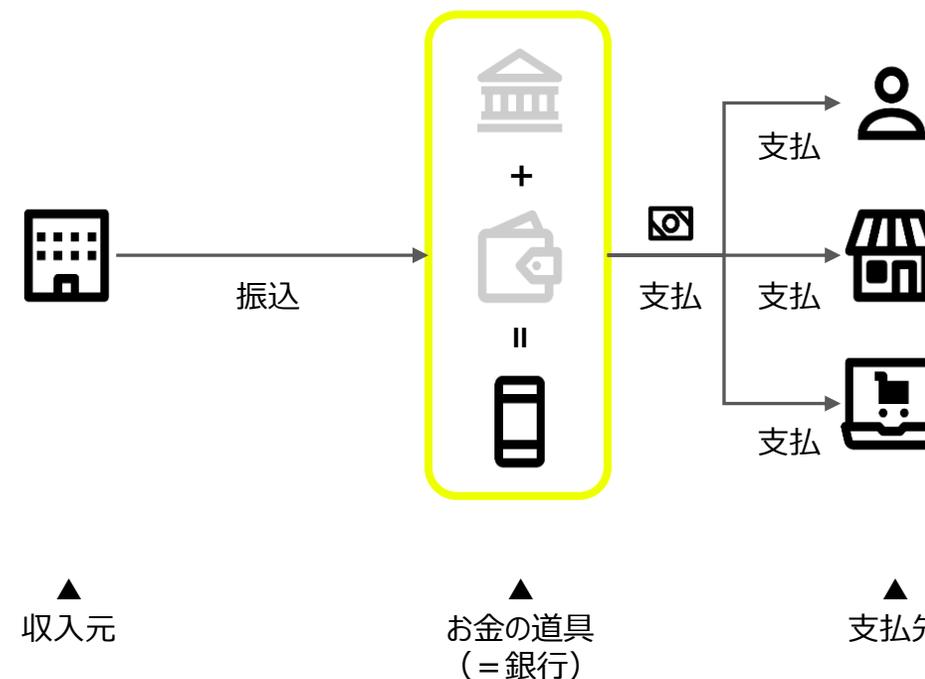
バンキングとウォレットが一体化した世界

現在



みんなの銀行

バンキング機能を備えたデジタルウォレット



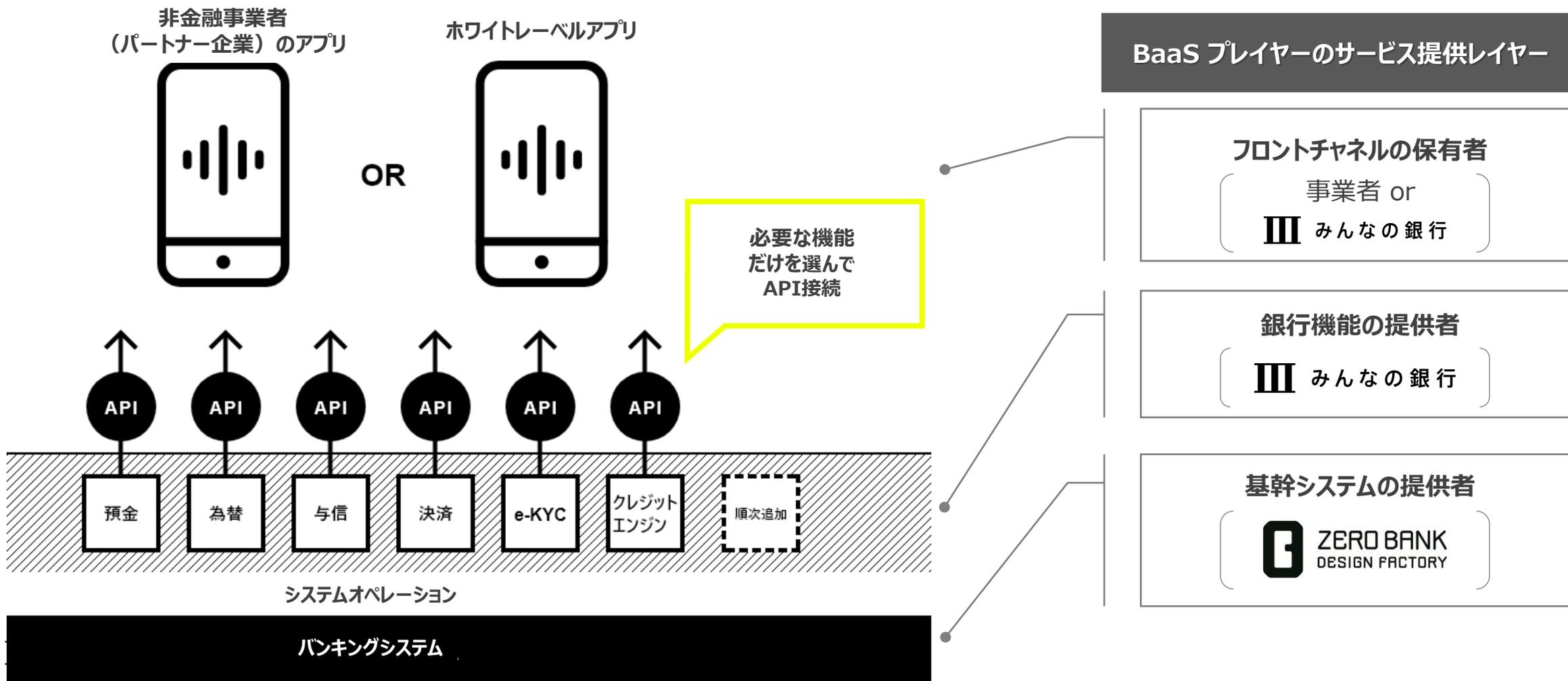
- みんなの銀行では、次世代バンキングシステムを活用したアジャイル開発態勢の構築により、“お客さま起点”による新規サービスのスピーディーな展開と、各サービスの継続的な磨き上げを実践することで事業領域を拡張していく。

みんなの銀行の提供サービスと展開ステップ（イメージ）

	貯める・管理する		入金	出金	不足時	余剰時
システム稼働開始時点	口座開設	目的預金	振込入金	振込出金	当座貸越（Cover）	貯蓄預金
	普通預金	サブスクリプション	ATM入金	ATM出金		
サービス提供開始時点 2021.5.28	アカウントアグリゲーション			バーチャルデビットカード		
	リファラル（友達紹介）					
+ More	コミュニティ口座		集金・送金サービス	口座振替	消費性ローン	資産運用・投資
	ロイヤリティプログラム		他行からの自動入金	デビットカード（物理）	与信モデル高度化	総合コンシェルジュ

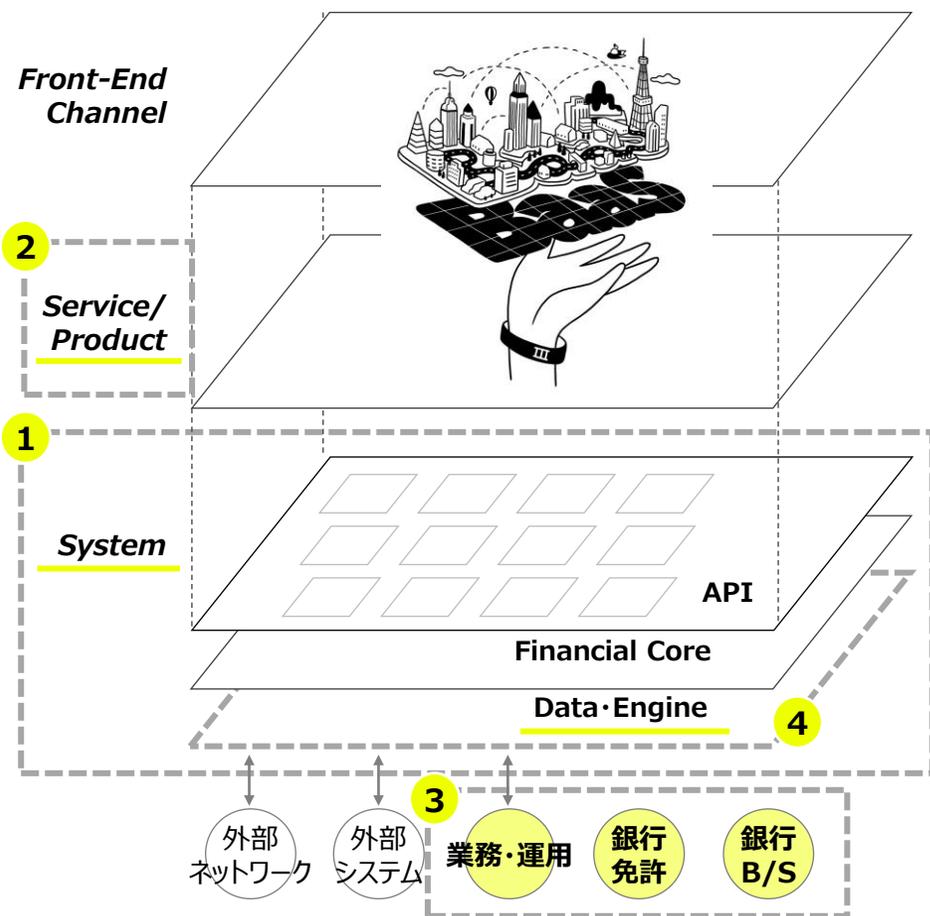
# みんなの銀行の事業戦略（BaaS事業） “Banking as a service (BaaS)” とは？

- “BaaS”とは、金融機能・サービスをAPIを通じて提供することで、非金融事業者の金融事業への参入を容易にし、非金融事業者が保有するチャネル等を通じて、金融機能・サービスをオンデマンド型で提供することを可能にする仕組み。



# みんなの銀行の事業戦略（BaaS事業） “みんなのBaaS”の4つの特徴

■ 「みんなのBaaS」では、デジタル時代の顧客ニーズの変容に即した新たな価値提供を実現するために4つの特徴を具備。



**1** 次世代  
バンキングシステムの  
フレキシビリティ

- マイクロサービス・APIアーキテクチャによって構築されているため、
  - ✓ サービス・機能の導入・追加・改修が素早く・比較的安価に可能
  - ✓ ビジネスパートナーのニーズに合わせたサービス・機能のカスタマイズにフレキシブルに対応

**2** パーソナライズされた  
サービス提供

- 顧客の属性や取引状況に応じて、
  - ✓ 顧客単位でハイパーパーソナライズされた金利・手数料の出し分けや「個」に細分化したデータ分析が可能
  - ✓ 従来の金融機関が踏み込んでいない革新的な金融サービスを提供

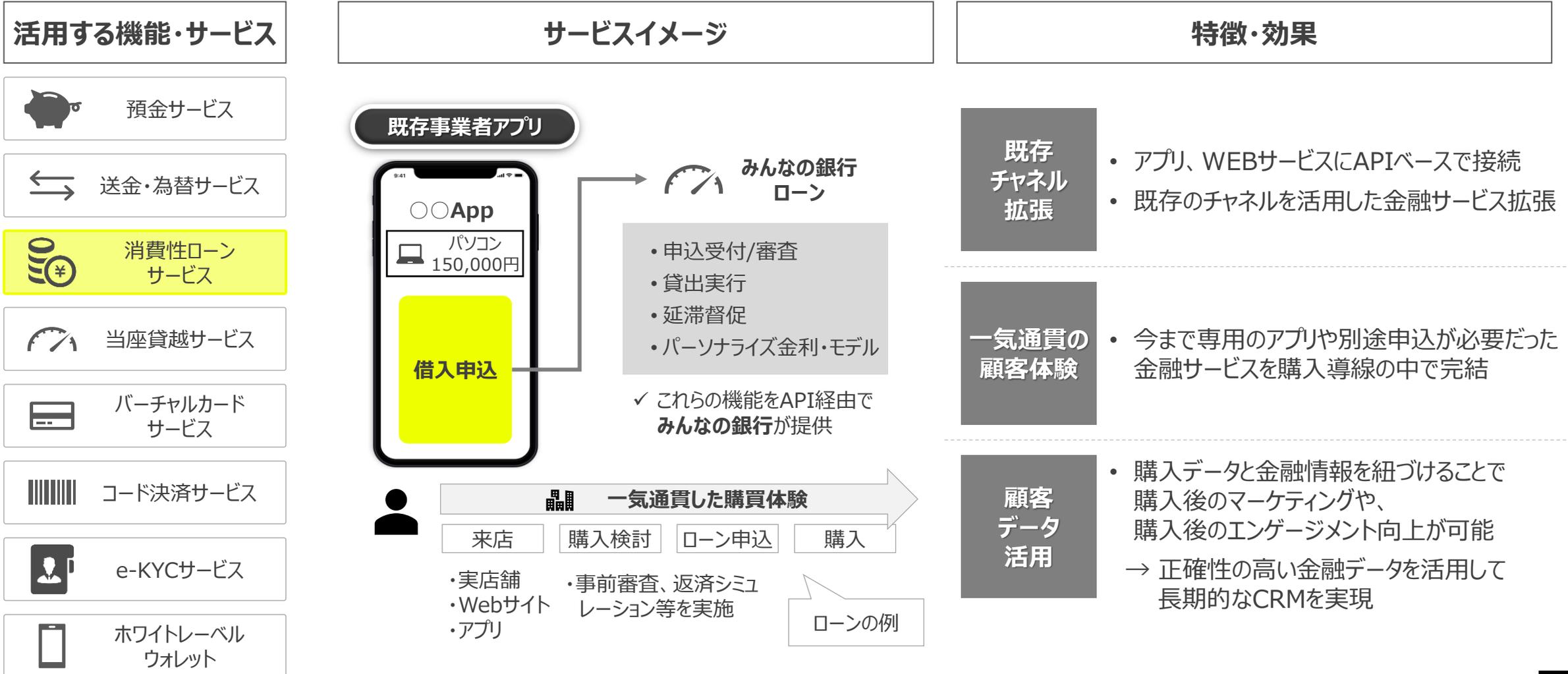
**3** みんなの銀行の  
ライセンス・  
アセット・ノウハウ

- 銀行免許・金融資本及び事業ノウハウを活用して、
  - ✓ ライセンスビジネスや高度な金融ノウハウを要する金融事業に参入
  - ✓ 資金効率・経営効率の良い運営（≒コスト競争力のある運営）が可能

**4** データ・情報の  
ニア・リアル連携

- 蓄積データと分析エンジンに基づき、
  - ✓ 一般的に顧客理解の難易度が高いデジタルネイティブ世代の理解を深める金融行動データをニア・リアルで連携
  - ✓ データ分析の結果を相互送客やマーケティングに活用

- 例えば「消費性ローンサービス」を組み込むことで、手許資金が無くてもその場で購買可能な体験を提供。



- デジタルネイティブで最新のテクノロジーを活用することで、従来の銀行システムでは実現できない軽量かつ柔軟な次世代バンキングシステムを構築。（システム開発子会社：ゼロバンク・デザインファクトリーが開発） → **デジタルバンクを実現する構成要素**

JFIA2020  
大賞を受賞

## 次世代バンキングシステムの考え方

- 変化に柔軟かつ迅速な対応を可能とするアーキテクチャー
- 高い性能 / 可用性を確保できるクラウド基盤



Kubernetes



Cloud Spanner



BigQuery



Cloud SQL



Cloud Dataflow

### デジタルネイティブなシステム

- 「マイクロサービス」ネイティブ
- 「オープンAPI」ネイティブ
- 「ビッグデータ」ネイティブ
- 「AI」ネイティブ
- 「BaaS型」ネイティブ (Banking as a service)



Google Cloud Platform

### 「クラウド」ネイティブ

×

### 銀行として求められる要件

- ✓ 安全、安心、確実な金融サービスの提供
- ✓ 24/365 稼働 (ミッションクリティカル)

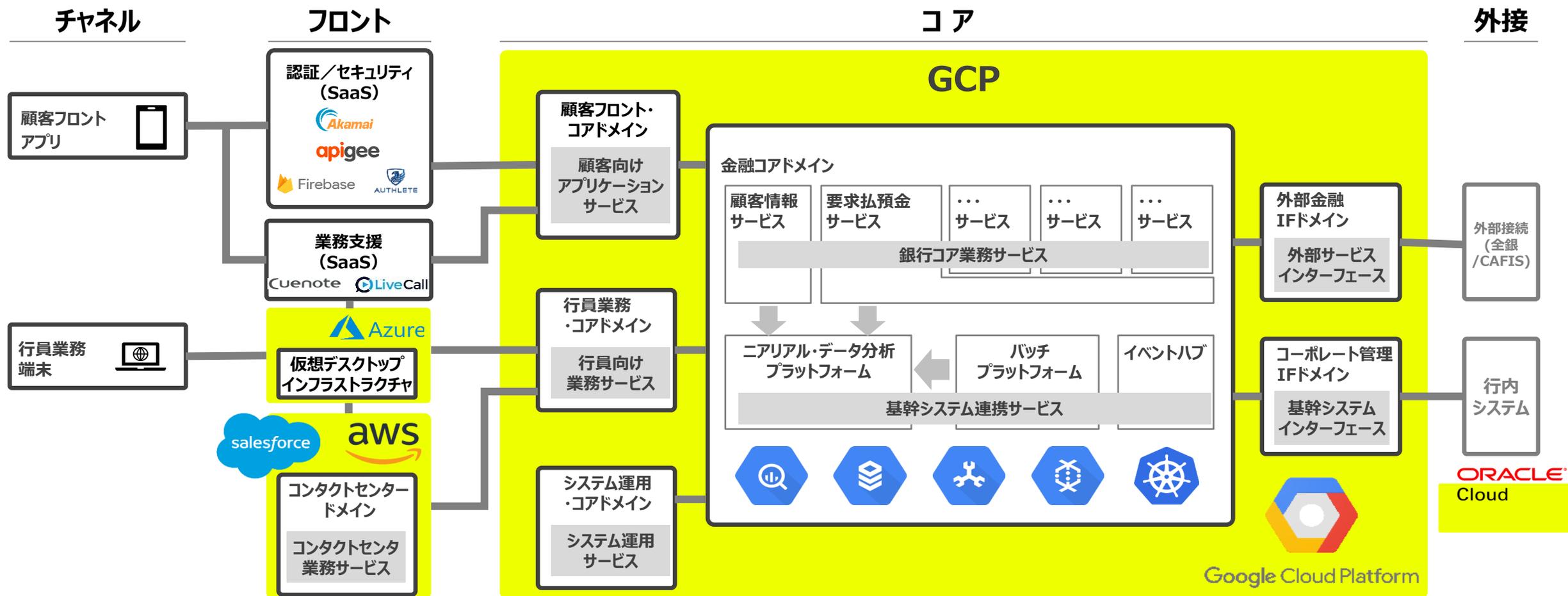
### デジタルバンクとしての要件

- ✓ ビジネスモデル
  - リーンスタートアップ (→ スケール)
  - エコシステム、オープンイノベーション
- ✓ サービス・オペレーション
  - DevSecOps (継続改善・共有思想)
- ✓ アプリケーション開発
  - アジャイル開発 (継続的デリバリー)

勘定系システムは Google Cloud Platform (GCP) 上に構築

# みんなの銀行のバンキングシステム（全体像）

- システム全体像は、基幹系のGCPだけでなく、Azure、AWS、Salesforce、ORACLEクラウド等、適材適所でマルチクラウド構成を採択。また、業務サービスの実現やシステムセキュリティ担保のためにSaaS連携も多数。



# みんなの銀行を構成するもの（ヒト・組織）

- Episode I : iBankマーケティング【ネオバンク】で「データアナリティクス」と「マーケティング」のスキルセットを獲得。
- Episode II : みんなの銀行【デジタルバンク】で「エンジニアリング」のスキルセットを拡張中。

**iBankマーケティング**  
2016年4月1日設立

**みんなの銀行**  
2021年1月4日開業

## 地域金融グループ発のネオバンク

Banking を Marketing する会社



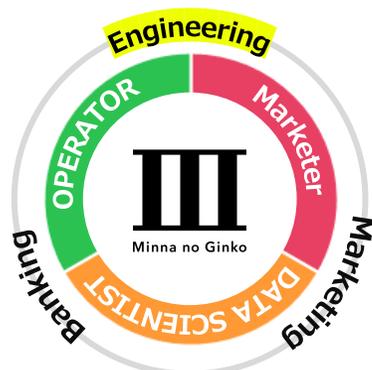
### スキルセット

アプリ事業	データアナリティクス
ポイント事業	ウェブマーケティング
広告/商社事業	ブランディング
	マーチャンダイジング

III Minna no Ginko

## 日本初のデジタルバンク

Banking を Engineering して Marketing する銀行

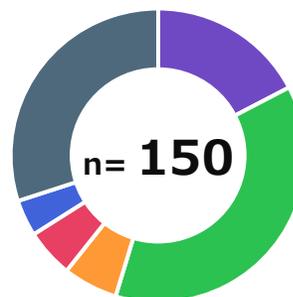


### スキルセット

アジャイル開発
プロダクトマネジメント (ユニット単位組織)
DevSecOps

多種多様な人財

ユニット単位組織



コーポレート	26 (17%)	マーケティング	8 (5%)
ビジネス	56 (37%)	デザイン	6 (4%)
データ	9 (6%)	システム	45 (30%)

- これまでの銀行にいない職種を多く採用、幅広い機能を具備
- サービスデザインやシステム開発、マーケティングやデータ分析等、機動的なビジネスを実現するための内製化を推進





西中洲の兄弟Project

## みんなの銀行&ゼロバンク と iBank の MVV+I





みんなに価値ある『つながり』を。

みんなの銀行 2021.5.28 Debut!

9:38

# Wallet

普通預金  
¥240,000

残高を隠す

¥100,000の入金がありました。このお金を貯蓄に  
回しませんか？

12:50

# Banking

普通預金  
Wallet  
¥240,000

貯蓄預金

- Saving ¥20,000
- スニーカー ¥10,000
- スポーツカー
- 世界1周

普通預金  
¥240,000

残高を隠す

¥100,000の入金がありました。このお金を貯蓄に  
回しませんか？

Record

すべての明細

- 預金 (3)  
¥1,540,000
- クレジットカード (3)  
¥280,000
- 電子マネー (1)  
¥11,000
- 投資 (2)  
¥1,420,000

お金の移動先を選択

Wallet ¥240,000

Saving ¥420,000

スニーカー ¥10,000

スポーツカー

世界1周

お金を移動

Wallet ¥240,000

ラウンジフェア ¥0

¥10,000

お金を移動しました

Wallet → ラウンジフェア

¥10,000

Minno Ginko

カード番号  
1234 - 5678 - 9012 - 3456

カード名義人  
HIKARU NISHIKAWA

有効期限  
10/30

セキュリティコード  
000

# みんなの銀行アプリを 今すぐダウンロード!

ダウンロードしたアプリから  
簡単に口座開設することができます。



## iPhoneをお使いの方



アプリケーション推奨環境(対応OS)<sup>※</sup>  
iOS 13~14

## Androidをお使いの方



アプリケーション推奨環境(対応OS)<sup>※</sup>  
Android 8~11

※推奨環境においても、一部動作に制約がある場合があります(2021年5月時点)。